



自分が当たり前に使っているものは、誰かが時間をかけて頑張って作ってきたものだから、大切に使いしていきたい。



自分たちが生活していけるのは陰で支えてくれている人たちのおかげだと実感した。



表には見えないところでお客さんのために頑張っている人がいるんだと思った。



職場体験をしてから働く人に対する感謝の心が増えた気がする。



働くうえでの大変さやうれしさ、楽しさを実感することができた。働いている人に感謝しないといけないと思った。



どんな仕事でも大変さや苦しさはあるけれど、それを乗り越えられるくらい自分が好きな職業につきたいと考えた。

9月から10月にかけて、市内の中学2年生約730人が、市内および近隣の事業所や小学校、幼稚園などで職場体験を行いました。福津市商工会やイオンモール福津をはじめとした事業者の皆さんの協力のもと、今年は112事業所で幅広い業種の仕事を体験しました。

生徒たちは、挨拶や言葉遣いなど、社会人としての基本的なマナーを学ぶだけでなく、人に喜んでもらうことや、任された仕事をやり遂げることを通して、働く楽しさややりがいを感じることができました。また、職人の仕事を間近で見て、感じて、将来や進路について考える良い機会になりました。

体験後、事業所からは「働くことの大変さ、大切さを実感できていればいいなと思います」「学校や家庭以外の大人と職場で接することで、生徒たちにいい刺激になったと思います」「この経験が成長や意欲につながれば幸いです」などあたたかい言葉をいただきました。

まだ将来の夢がはっきりと決まっていない生徒たちも、この体験を通して職業観を広げ、将来、さまざまな職業の担い手として、活躍するきっかけになることを期待しています。



中学校職場体験

働くことの大切さ

問い合わせ 市学校教育課 ☎0940・62・5090

